

環境編

当社では、TDKグループ全体の環境方針として、「環境基本理念」と「環境方針」からなる「TDK環境憲章」を制定し、持続可能な発展に寄与することを目指しています。これに基づき、具体的な活動の基本計画として「TDK環境活動2015」を策定し、実践に努めています。

環境方針・環境ビジョン

企業情報 → CSR活動 → 環境方針・環境ビジョン <http://www.tdk.co.jp/csr/csr03100.htm>

TDK環境憲章

この環境憲章は、全世界のTDKグループ各組織に適用する。

環境基本理念

TDKグループは、社会の持続可能な発展のために、地球環境との共生が重要な経営課題の一つと認識し、その実現に向けた行動を、あらゆる事業活動の中で、全員で実行する。

環境方針

TDKグループは、『環境基本理念』に基づき、より健全な地球環境を次世代に継承するために、迅速かつ効果的な環境保全活動を、全員参加で推進する。

- 1 環境活動を推進するための体制整備と責任所在の明確化を図るとともに、経営層はこの方針を実現するために必要な経営資源の提供を行う。
- 2 ライフサイクルに配慮した製品及びサービスの創出と市場への供給を通じて、社会に貢献する。
- 3 それぞれの地域における環境関連の法規及びその他の同意事項を遵守するとともに、法規制値遵守や化学物質管理のために必要な自主基準を設定し、管理水準の向上を図る。
- 4 環境マネジメントシステムを効果的に機能させ、環境方針を実現するために、環境目的・目標を設定、実行し、継続的な環境負荷低減と汚染の予防を図る。
- 5 環境に関する定期的な監査を実施し、環境マネジメントシステム及び関連するパフォーマンスの継続的改善を行う。
- 6 環境活動に関する情報を開示し、地域・社会とのコミュニケーションを図る。
- 7 行政や地域社会などの環境に関する活動に積極的に参画する。
- 8 環境方針、環境目的・目標及び環境マネジメントシステムは、定期的かつ必要に応じ見直す。

～この環境憲章は、必要に応じ、どなたにでも提供いたします。～

1993年3月1日制定 / 2006年9月1日改定(第4版)

環境ビジョン 「TDK環境活動2015」

社会の持続可能な発展を目指し、循環型社会を実現するためには、長期的な展望に基づいた環境基本計画が必要と考え、当社は、2006年4月に第三次環境基本計画となる「TDK環境活動2015」を制定しました。この環境基本計画の中で、新たな長期目標の設定と環境活動のグ

ローバル展開を盛り込んだ、具体的活動項目五つを設定し、TDKグループ全体がその達成に向け取り組んでいます。

活動項目や目標値は、毎年度の実績に基づき見直し、より高いレベルの環境活動を目指しており、2009年度には活動項目の一部見直しも実施しました。

現在、次期環境基本計画となる「TDK環境活動2020」の制定に向けた作業を進めています。



豊かな自然、 多彩な生態系を守るために (生物多様性行動指針)

当社は各種部品の製造のために、原材料として金属やその酸化物を使用しています。これらの原材料は世界各地の鉱山から産出される鉱石等を利用してつくられています。鉱石を採取するための鉱山開発は、景観の破壊だけでなく、森林資源の破壊やそれによる水資源の変質、ひいては生態系に悪影響を及ぼす恐れもあります。失われた生態系は取り戻すことはできません。製造業として原材料の使用をやめることはできませんが、生態系への影響を少しでも緩和するために、生産効率の改善等による省資源活動を推進するだけでなく、森林資源や水資源の保護を進めています。

当社の部品は多くの映像機器、録画機器、事務機器に利用されています。私たちがすばらしい自然美や神秘に満ちた動植物の生態を映像に撮り、記録に残すのは人間としての本質的な欲求です。当社は美しい自然を次世代に引き継ぐことが大切と考え、各地でさまざまな自然保護活動を行っています。

当社は、従業員一人ひとりが、生産活動に伴う環境への影響や企業活動と環境との関わりを考え、豊かな地球環境の保全に努めていくとともに、環境基本理念および環境方針に基づき、地球上の生物多様性を保全するための具体的な行動指針として、2009年9月「生物多様性行動指針」を制定しました。

※生物多様性行動指針全文はWEBをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr03100.htm>
※主な自然保護活動の実績はこちらをご覧ください。
<http://www.tdk.co.jp/csr/csr05300.htm>